



優秀賞



小名浜港東港地区臨港道路
点検マニュアル（案）
平成29年3月



港湾・海岸
分野

100年後も健全な橋梁を目指して 小名浜マリブリッジ『点検マニュアル』の策定と 地域技術者との連携体制構築～使い始める前に考える～

取組概要

海上に整備中の人工島への連絡路である小名浜マリブリッジは、人工島への唯一の連絡路であり「使い始める前」から維持管理に関して様々な検討や整理を行い、その成果の一つとして点検時のマニュアルを作成した。マニュアルは有識者から成る委員会にて議論を行い取り纏めている。

更に、将来、同橋の維持管理を行っていくため、地域技術者との連携体制構築を目指すべくマニュアルを用いた現場視察会を開催し、改善点などの意見交換を行った。

受賞理由

地域のランドマークでもある橋梁について、将来にわたり適切に維持管理をおこなうため、建設の段階から点検マニュアルの策定を進め、施設完成前の視察会を通じてその有効性を確認する等、施設を整備する国と管理者である福島県、メンテナンスを担う地域の技術者とが一体となった取組みが評価された。

取組のポイント

- 専門的知識を要しない者でも利用できる点検時のマニュアルを作成。
- 点検作業時の補助となるマーキング（目印）を小名浜マリブリッジの随所に設置。
- 地域技術者との連携体制構築を目指した現場視察会（意見交換会）を開催。

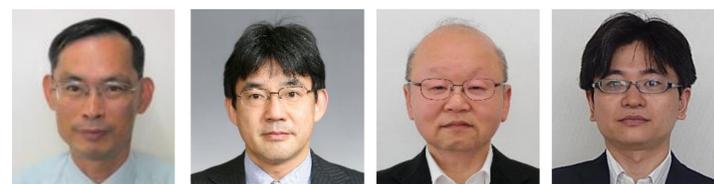


マーキングの一例（斜材の点検用）



意見交換会の様子

受賞者について



受賞者

小名浜港東港地区臨港道路維持管理技術検討委員会
委員長 清宮 理
ふくしまインフラ長寿命化研究会 岩城 一郎
福島県 小名浜港湾建設事務所 鍋野 浩和
東北地方整備局 小名浜港湾事務所 仙崎 達治

コメント

この度は、インフラメンテナンス大賞の優秀賞を頂き受賞者一同感謝しております。本取組が、今後の重要インフラでも益々必要となる設計や施工段階から維持管理に配慮した取り組みの参考となれば幸いです。

また、今回の受賞を励みに社会インフラの維持管理に関する技術力の向上に努めていく所存です。

団体概要

「小名浜港東港地区臨港道路維持管理検討委員会」は、清宮理（早稲田大学名誉教授）を委員長とし、設計施工者（東北地方整備局小名浜港湾事務所）、港湾管理者（福島県）、維持管理の専門家、コンクリートの専門家、地域の技術者等（福島インフラ長寿命化研究会）で構成される団体です。

問い合わせ先

東北地方整備局小名浜港湾事務所
工務課長 佐々木 均
0246-53-7102/sasaki-h82ap@mlit.go.jp
工務課 小山 真
0246-53-7102/oyama-m83ab@mlit.go.jp